

平成21年(2009年)度版

ごみゼロレポート

みんなでめざそう “ごみゼロ社会”

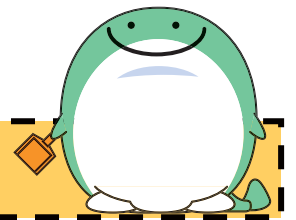


ゼロ吉ファミリー

I. 「ごみゼロ社会実現プラン」	P.1
II. 三重県のごみの現状	P.3
III. 平成20年(2008年)度の取組 (ごみゼロ社会実現プラン推進モデル事業)	P.5
IV. 平成20年(2008年)度の取組 (県として主に取り組んだこと)	P.13
V. ゼロ吉くんれぽお〜と	P.17
VI. 三重県ごみゼロキャラクター「ゼロ吉」登場	P.24

平成21年(2009年)12月

三 重 県



1. 「ごみゼロ社会実現プラン」

「ごみゼロ社会実現プラン」とは？

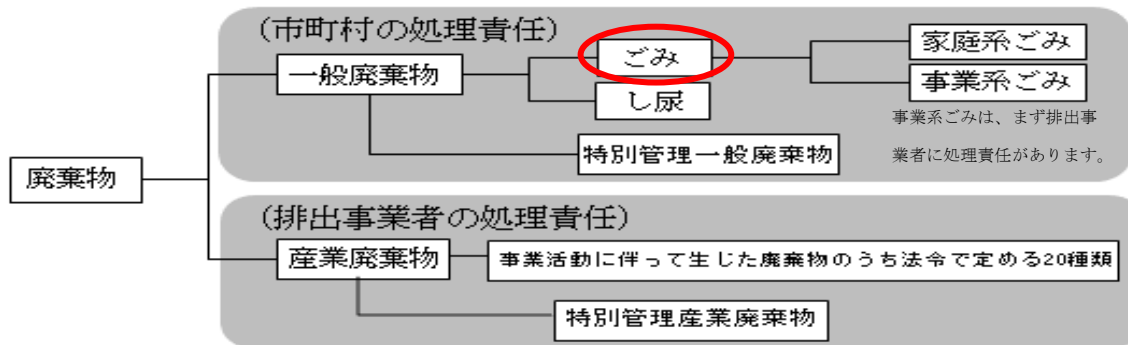
持続可能な資源循環型社会の構築という大きな目標に向けて、住民、事業者、行政など多様な主体が共有すべき取組の指針であり、長期的な展望のもとに参画・協働していくためのプランです。県民のみなさんの参画のもと2005年（平成17年）3月に策定しました。

「ごみゼロ社会」とは？

“「ごみを出さない生活様式」や「ごみが出にくい事業活動」が定着し、ごみの発生・排出が極力抑制され、排出された不用物は最大限資源として有効利用される社会”のこととしています。

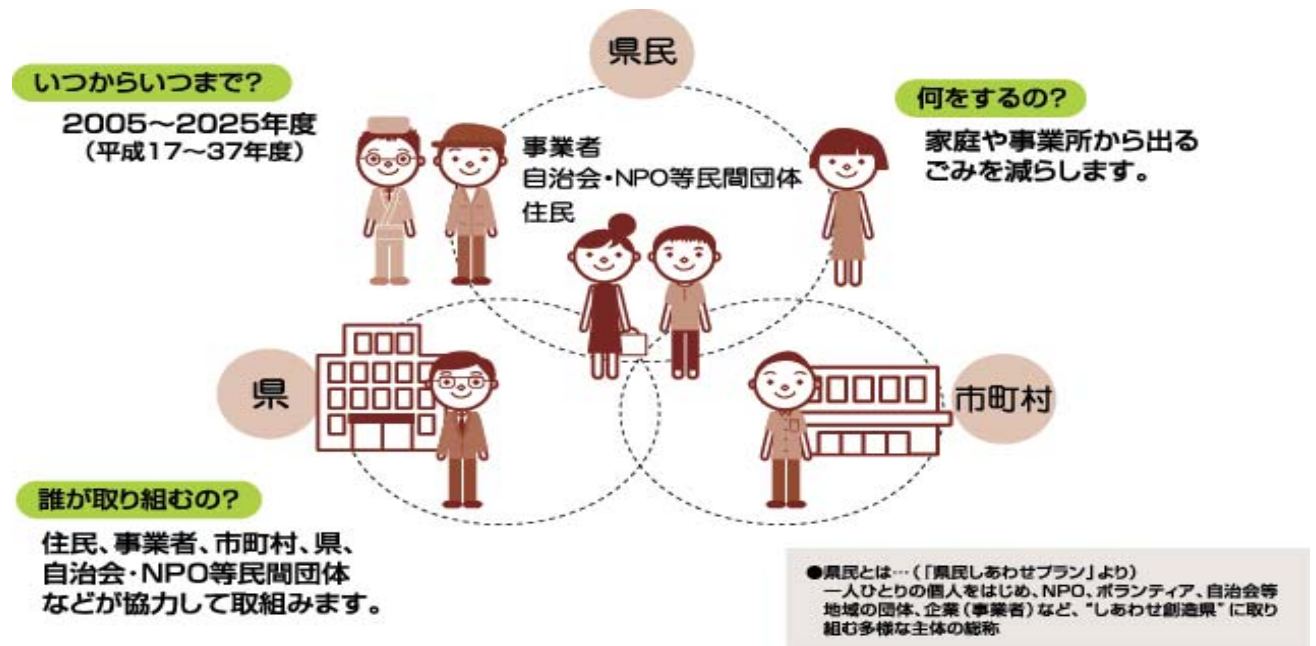
「ごみ」とは？

ごみゼロプランの対象とするごみは、家庭や事業所から出る一般廃棄物です。

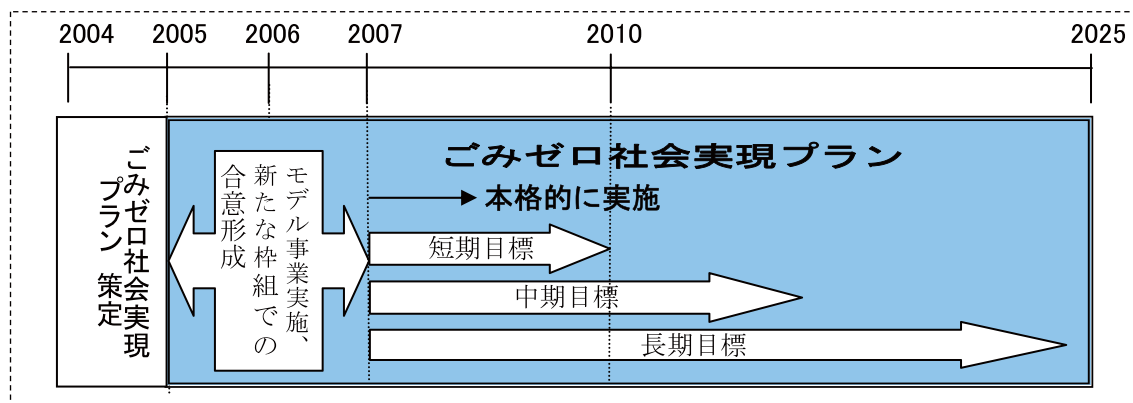


推進体制のイメージ

住民や事業者、行政、民間団体等がそれぞれの役割を認識したうえで、自主的にごみの減量化・再資源化に向けた取組を進めます。また、各主体の連携協働を促進します。



ごみゼロ社会実現プランの目標設定



短期・中期の目標設定

(1) ごみの減量化

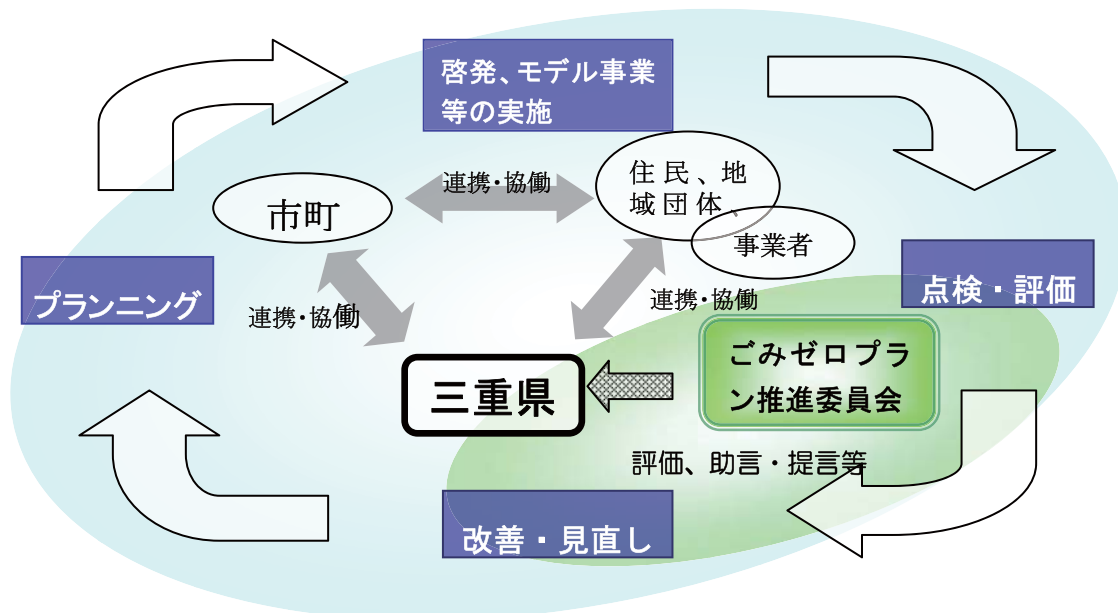
区分	指標名	数値目標		
		短期(2010年度)	中期(2015年度)	目標(2025年度)
①発生・排出抑制に関する目標	ごみ排出量削減率 (対2002年度実績)	家庭系ごみ6% 事業系ごみ5%	家庭系ごみ13% 事業系ごみ13%	家庭系ごみ30% 事業系ごみ30%
②資源の有効利用に関する目標	資源としての再利用率	21%	30%	50%
③ごみの適正処分に関する目標	ごみの最終処分量	81,000トン (対2002年度 約46%減)	76,000トン (対2002年度 約50%減)	0トン

(2) 多様な主体の参画・協働

指標名 (H16現状値)	数値目標		
	短期(2010年度)	中期(2015年度)	目標(2025年度)
④ものを大切に長く使おうとする県民の率(58.2%)	80%	90%	100%
⑤環境に配慮した消費行動をとる県民の率(39.4%)	60%	90%	100%
⑥食べ物を粗末にしないよう心がけている県民の率(38.5%)	60%	90%	100%
⑦ごみゼロ社会実現プランの認知率(-)	90%	100%	100%

プラン推進のマネジメント

県民、事業者、NPO等団体、学識経験者、行政で構成される「ごみゼロプラン推進委員会」を設置し、プラン推進の取組を検証・評価し公表するなど、PDCAサイクルに基づくマネジメントを行います。



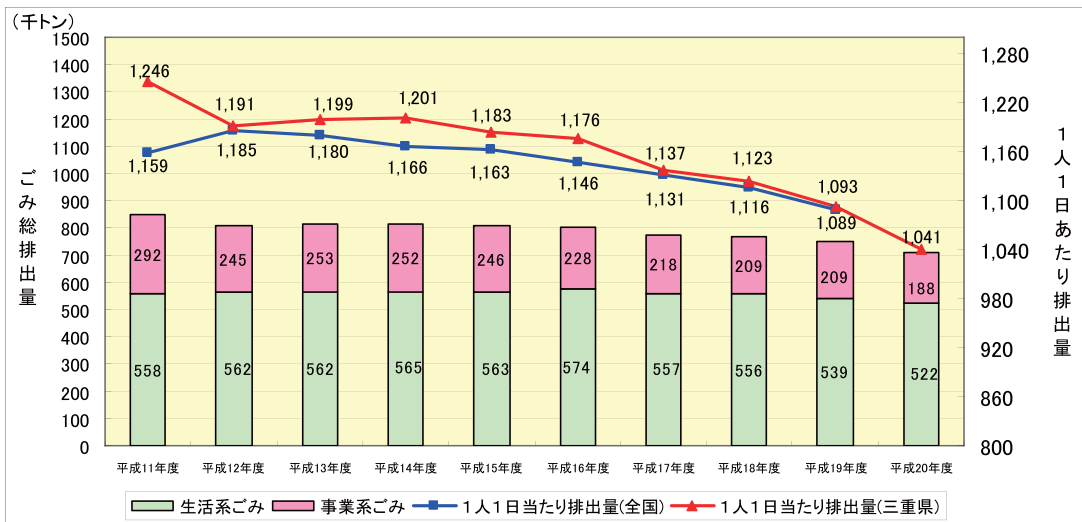


II. 三重県のごみの現状

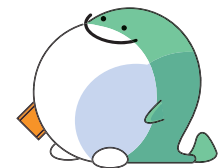
ごみの排出量

平成20年（2008年）度の速報値では、県内におけるごみ総排出量は、前年度比5%の減少となっています。そのうち、生活系ごみの排出量は3.1%、事業系ごみの排出量は9.9%と、いずれも前年度に比べて減少しています。

また、1人1日当たりごみ排出量でも、20年度速報値は、前年度に比べて、大きく4.8%減少しています。ここ4年ほどの1人1日あたりごみ排出量をみると、全国平均との差は縮まっています。

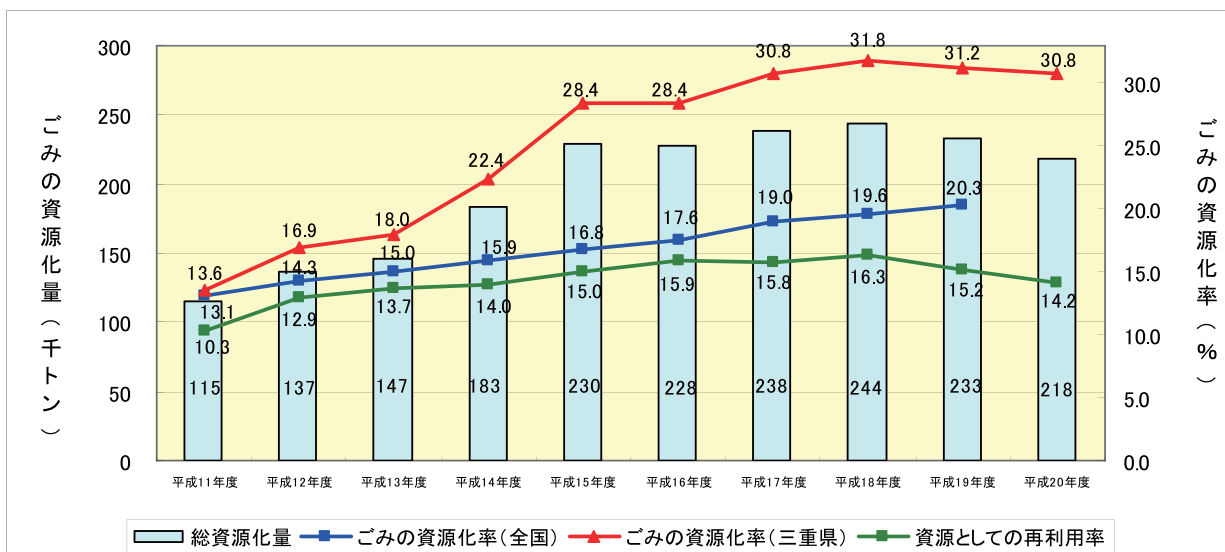


三重県の1人1日当たりのごみ量は、1,041g でだいたい牛乳パック1本分くらいになるんだゼロ



ごみの資源化率

ごみの資源化率は、30%を超えて全国トップクラスとなっており、資源利用は順調に進展していますが、平成19年度、20年度は前年度に比べてやや実績値が下がりました。

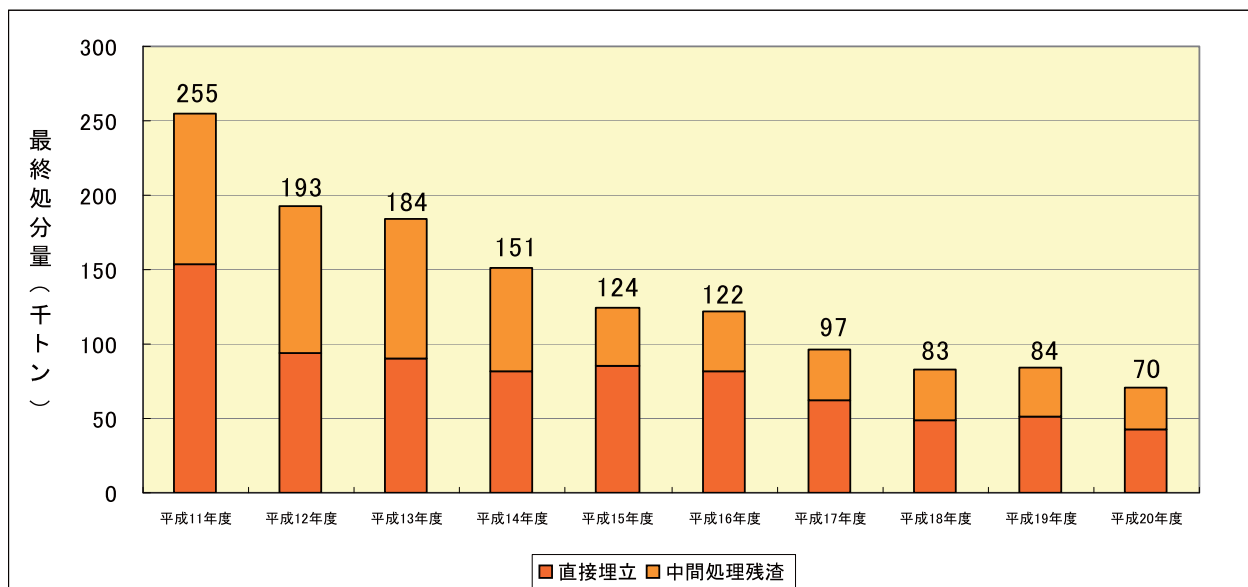


※1 プランの数値目標である「資源としての再利用率」には再使用や再生利用をより重視する観点から、このグラフの「資源化率」には含んでいる①「ごみ固形燃料（RDF）発電施設に供給するためにRDF化した量」、②「焼却施設で生じた焼却灰を溶融化施設でスラグ化した量」③「集団回収量」は含めていません。

※2 この数値については、行政が回収したものを対象としています。

最終処分量

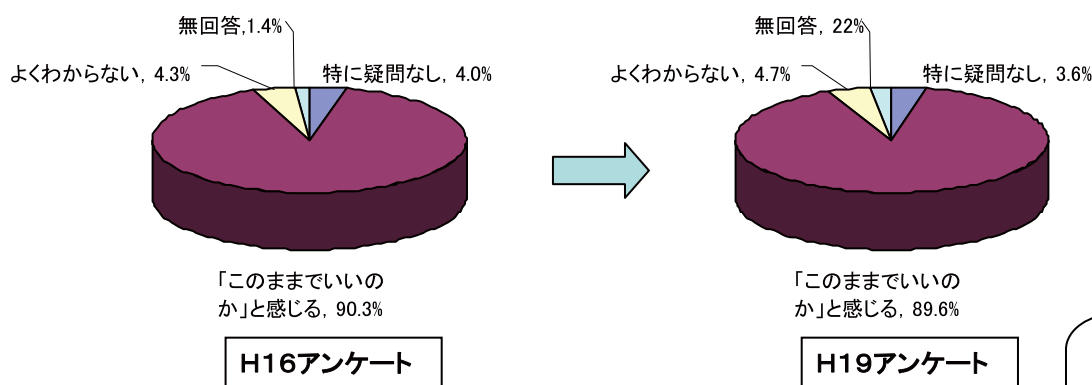
平成20年（2008年）度の速報値では、県内における最終処分量は約7万トンで、前年度に比べ16%減少しました。最終処分量は、平成11年度の1/3以下に減少しています。



県民の意識と行動

県民のごみに関する意識をみると、今の使い捨て社会に対して大多数の人が疑問を感じながらも、実際に環境に配慮した行動をとる人の割合はまだ低く、意識と行動とが必ずしも結びついていない実態があります。

使い捨て社会に対する疑問



プラン数値目標(多様な主体の参画・協働)についての県民意識

	H19	H16	増減
ものを大切に長く使おうとする県民の率	58.3%	58.2%	+0.1%
環境に配慮した消費行動をとる県民の率	40.2%	39.4%	+0.8%
食べ物を粗末にしないよう心がけている県民の率	40.6%	38.5%	+2.1%
ごみゼロプランの認知率	45.6%	—	—

ぼくたち「ゼロ吉」ファミリーと一緒に、ごみ減量の行動をしてほしいゼロ





III. 平成20年(2008年)度の取組 (ごみゼロ社会実現プラン推進モデル事業)

「ごみゼロ社会実現プラン」のごみ減量化取組をより効果的に、県全体での展開につなげるために、市町が地域住民・事業者・団体等と協働して行う、他の市町・地域の参考となる実験的・先駆的なモデル事業3件に対して、費用を補助するなどの支援を行いました。

鳥羽市「事業系ごみ(食品廃棄物)再資源化システム検討事業」

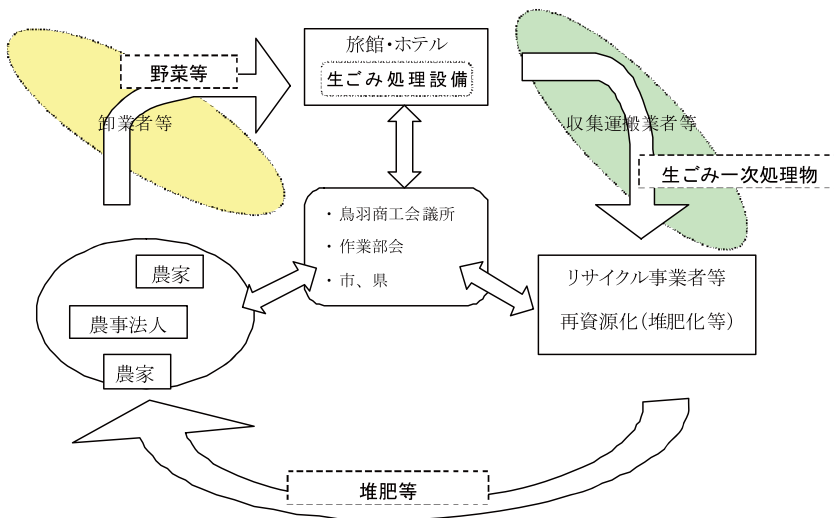
事業の目的と概要

鳥羽市では、旅館・ホテルから排出される生ごみが事業系可燃ごみの約40%を占めています。この生ごみ(食品廃棄物)の減量、リサイクルループ(地域循環)の構築をめざして、旅館・ホテル、商工会議所、行政等が連携して、モデル事業所を選定して生ごみの再資源化システムづくりを検討・推進しました。

事業の成果

- ・事業者、地元商工会議所、行政がともにシステムづくりの検討を進めることで、ごみ排出の現状や課題、生ごみの再資源化に向けた取組について意見交換ができました。
- ・参画した2事業者においては、自施設内で生ごみを減量・減容・堆肥化処理→契約農家における完成堆肥を活用した米や野菜の栽培→調理食材として還流利用というリサイクルループが構築されました。

システムイメージ



参画事業者

	サン浦島	戸田家
処理方式	乾燥式	バイオ式(微生物による高温好気性発酵)
処理能力	100kg/日	100kg/日
再資源化	契約農家で米を栽培し、料理食材として利用	契約農家で野菜などを生産し、料理食材として利用

今後の課題や取組

- ・今回は2社にとどまった参加事業者を市内のより多くの旅館・ホテル事業者に拡大していくために、事業者が設置する事業系生ごみ処理機の整備補助制度(鳥羽市)を今後も継続します。



サン浦島の処理機



戸田家の処理状況

- ・引き続き、事業者・商工会・行政連携の枠組みで、今回の2事業者での実証事業の実績の検証や課題の把握、対策の検討を行うとともに、事業の成果の周知・啓発を進めます。

「生の声」～事業者の立場から

サン浦島悠季の里 副支配人 北田 真規さん

【今回のモデル事業に取り組んだ理由は？】

伊賀市で農業をされている(株)アヤマNOSANさんから有機農法を始めるとい話があり、その肥料を当館から堆肥で提供できないかという相談をしていました。その時に、鳥羽市からこの事業の提案を受けて実施を決めました。

エコの取組は、会社が苦勞して費用を負担するイメージがあります。しかし、私達は、社会貢献活動ではなく、堆肥をどこで使用するか、導入コストが何年で回収できるか、どれだけ利益が上がるか、有機農業の商品としての訴求力はどうか、などを検討し十分採算が立つと考え、一つのビジネスとして取り組みました。

【導入にあたって心がけたことは？】

がんばらないことです。がんばりすぎると、しんどいし、続けることができないからです。

ごみの処理や分別係を、客室係や調理係など全員が交代で行っています。そのため、自分たちが楽に分別できるように、各係が工夫を重ねています。例えば、食事に付けるプラスチックの飾りを無くして生花を使う等の工夫の結果、分別は「食べられるもの」と貝殻などの「食べられないもの」の2種類になりました。

その効果で、ごみ量全体も約30%減少しました。

【堆肥の利用先は？】

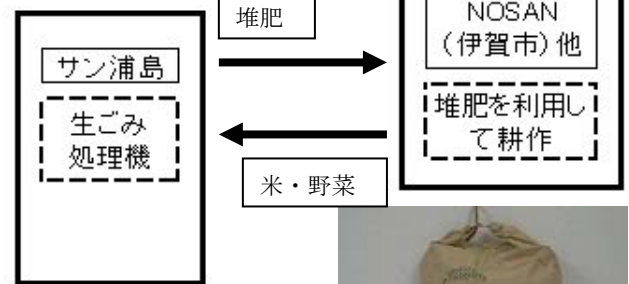
伊賀市の(株)アヤマNOSANさん等に米・野菜の耕作に利用してもらうためにお渡ししています。堆肥を無料で提供する代わりに米・野菜等の購入代金を割り引きしてもらっています。

また、別館の御宿「The Earth」の近くに畑を作ったので、その耕作にもこの堆肥を利用しています。

【今後の目標は？】

自分たちが諸かるだけでなく、地域が活性化する地域おこしをしたいと思っています。

例えば、現在三重で作った野菜を第一条件として市場で購入していますが、地元の農家の方にこの堆肥を使用してもらう等、色々な工夫をしていこうと思います。



「生の声」～事業者(料理長)の立場から

サン浦島別館 御宿 The Earth 料理長 山川 基次さん

【モデル事業について】

旅館の畑は、調理部も含めて従業員が交代で耕作しています。

私も割烹着を着て、コンボを動かし、山を切り開いて畑を耕しました。農業の経験はないので、見よう見まねで行っていて大変ですが、始めてみると面白いものです。

現在、なすび、トマト、さつまいもを育てています。なすびはお





The Earth の畑

皆さまにお出しして、旅館の畑で育てた有機農法の無農薬野菜だと説明しています。今後は、野菜畑を広げたり、コスモス畑も作る予定です。

堆肥化を始めて、確かにごみは減りました。他にも、取引業者さんにできるだけ発泡スチロールを止めて「通い箱」にすること等を頼んでいます。少しずつでも努力すれば、ごみは減ることはあっても、増えることはないと思います。

【(株)サン浦島ホームページ <http://www.sun-urashima.jp/index.html>】

「生の声」～生産者の立場から

株式会社アヤマNOSAN 取締役 川瀬 秀隆さん

【現在の会社の状況とサン浦島さんとの付き合いのきっかけは？】

(株)アヤマNOSANを法人として1年半前に立ち上げ、現在13ヘクタールの田を耕作しています。また、稲の苗を育てる育苗ハウスを利用して苗が入っていない夏場には、きゅうり、なす、さつまいもを、冬にはほうれん草、小松菜、水菜等を育てています。

サン浦島さんとは、4～5年前に米の自由販売ができるようになった時にお米の話を持ちかけたところ、おいしさが認められたのがはじまりです。

【堆肥の利用と有機栽培の方法は？】

堆肥の使用方法は、①名張市の奥田牧場の牛フン堆肥②米ぬか③もみ殻④サン浦島の生ごみ堆肥の4種類を混合し、1年間熟成発酵させます。その後、堆肥を田に散布し、耕起（田起こし）します。堆肥が元肥（もとごえ）になるので、田植え後、有機肥料を追肥として1回散布します。

堆肥は1年間発酵させるので、生ごみ堆肥を利用した米作りは平成22年度秋の収穫予定分からとなります。しかし、野菜は、今耕作している分も生ごみ堆肥を利用しています。

有機肥料（堆肥含む）を使用するようになった理由は、化学肥料が高騰したため、自分でまかなえるようにしたいと思ったことと、有機栽培ということで付加価値がつくためです。現在は、田全体の約半分で有機栽培を行い特別栽培米として販売しています。



(株)アヤマNOSANの田

【米の利用と有機肥料の使用方法は？】

米は、サン浦島さんに1ヶ月に4回ほど使用量に応じて納品します。納品時にサン浦島さんの生ごみ堆肥を、1～2ヶ月に1回もらって帰ります。野菜は、サン浦島さんが遠いため、日持ちのする野菜を送っています。

米と野菜は、他に近くの道の駅「あやま」などでも販売しています。

【(株)アヤマNOSANホームページ <http://www.ict.ne.jp/~ayama-k1/>】

「生の声」～事業者の立場から

戸田家 業務副支配人 央倉 秀明さん

【今回のモデル事業に取り組んだ理由は？】

今回のモデル事業をきっかけに、今まで使用していた生ごみ処理機を新しい機械に切り替えました。

新しい生ごみ処理機にして良くなったことは、第一に処理時間が非常に短くなったことです。以前の処理機だと48時間かかっていたの



熟成発酵中の堆肥



ですが、24 時間で処理が完了できるし、生ごみの連続投入ができるようになりました。

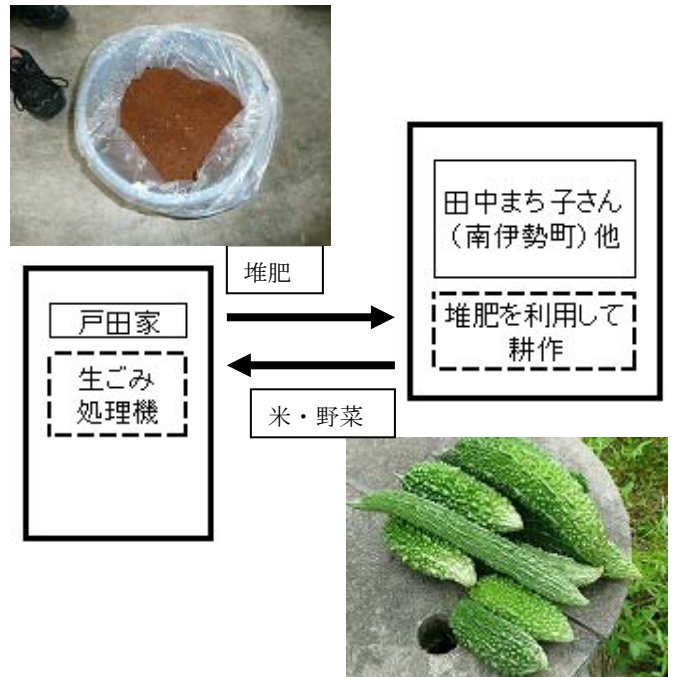
さらに、減容率が非常に良くなりました。短い時間で処理できるようになりましたが、堆肥の熟成のためには、できるだけ長時間処理した方が良いので、実際には、毎日100～200kgの生ごみを機械に投入して、1週間から10日ごとに堆肥を取り出しています。そうすると、堆肥が200kg程度できて、投入した生ごみの1割近くの量になっています。また、においも無臭に近く、機械のそばにいても臭いになりません。

【堆肥は、どのように利用していますか？】

できた堆肥は、農家に無料で渡す代わりに野菜を割り引きしてもらったり、安い値段で販売したりしています。4軒の農家に堆肥を渡していますが、伊賀市では水菜、志摩市では豆類やスイカ、松阪市ではにんじん等、南伊勢町（田中まち子さん）ではゴーヤやトマトが栽培されています。堆肥の使い方は、ある程度寝かして使用したり、農家ごとに色々と工夫されています。できた野菜は、形が不揃いのものもありますが、料理長も試食の上、お客さんにお出ししていますが、大変好評です。

今後は、処理中の機械の中の状況をインターネットを利用して、メーカーや三重大学の研究機関で把握できるような方法を検討しています。また、自分達で耕作する畑を作りましたが、獣害により被害を受けたので、今後は花畑を作ったり、調理残渣で作る養殖魚の飼料等の製造を検討しています。

【戸田家ホームページ <http://www.todaya.co.jp/>】



「生の声」～生産者の立場から

南伊勢町の農家 田中 まち子さん

【現状と戸田家さんとの付き合いのきっかけは？】

今は、自宅近くの2箇所の畑と、山でミカン畑を耕作している他、小さい鶏舎を運営しています。戸田家さんとの付き合いは、10年くらい前に父が知人から紹介されたことが、きっかけです。

【堆肥の利用方法は？】

2箇所の畑で堆肥を利用しています。畑で育てているのは、フルーツトマト、ゴーヤ、オクラ、とうもろこし、なすなどです。堆肥は畑にまいて耕運機で耕すだけで、追肥は行いません。

戸田家さんからは、毎月約20kgの堆肥をいただき、その代わりに野菜を渡しています。

新しい生ごみ処理機で生成された堆肥になってから、以前より野菜の育ちが良くなったように思います。



田中さんが栽培するトマト

また、堆肥を使用した畑は、使用していない畑と比べて、土が良い状態です。土が固まらなくてふかふかしているため水はけが良く、雨が多い時期も根腐れをおこしませんでした。

【今後の目標は？】

戸田家さんが、より多くの野菜を希望されているので、大変ですが、がんばりたいと思います。



伊賀市・名張市「レジ袋有料化検討事業」

事業の目的と概要

レジ袋を通して、地域住民がごみの減量化を意識・実践するため、「レジ袋の有料化・マイバッグ持参推進」について、コンビニエンスストア・ホームセンター等のスーパー以外の業態への働きかけも含め、2市連携のもと取組を推進しました。

事業の成果

- ・市民団体や住民の参画により、地域で取組を支える体制がつけられ、告知キャンペーンやPRが展開されたことで、市民の取組への理解が促進されました。
- ・両市が密に連携し、市長合同会見を行うなど、別個の推進体制をとりつつも伊賀市・名張市全体の取組としての雰囲気づくり・PRに努め、地域全体の気運醸成に成功しました。
- ・平成20年7月1日より、両市同時に、主要スーパー全店でのレジ袋有料化が一斉にスタートし、10月1日よりドラッグストアが加わり参画の規模が拡大しています。
- ・大きな混乱等もなく、スタート後のレジ袋辞退率は、当初目標（80%以上）を大きく上回る90%前後を維持し、順調に推移しています。



伊賀地域の共同声明発表

今後の課題や取組

- ・レジ袋辞退率の維持・向上のために、市民の取組へのモチベーションを高める方策を検討・実施します。
- ・さらなる取組の輪を広げるため、有料化未導入の他業態に対して、粘り強く有料化参画を働きかけます。
- ・有料化の「収益金」について、市民に納得いただける地域への還元のあるり方を検討します。



伊賀名張地域の店舗の様子

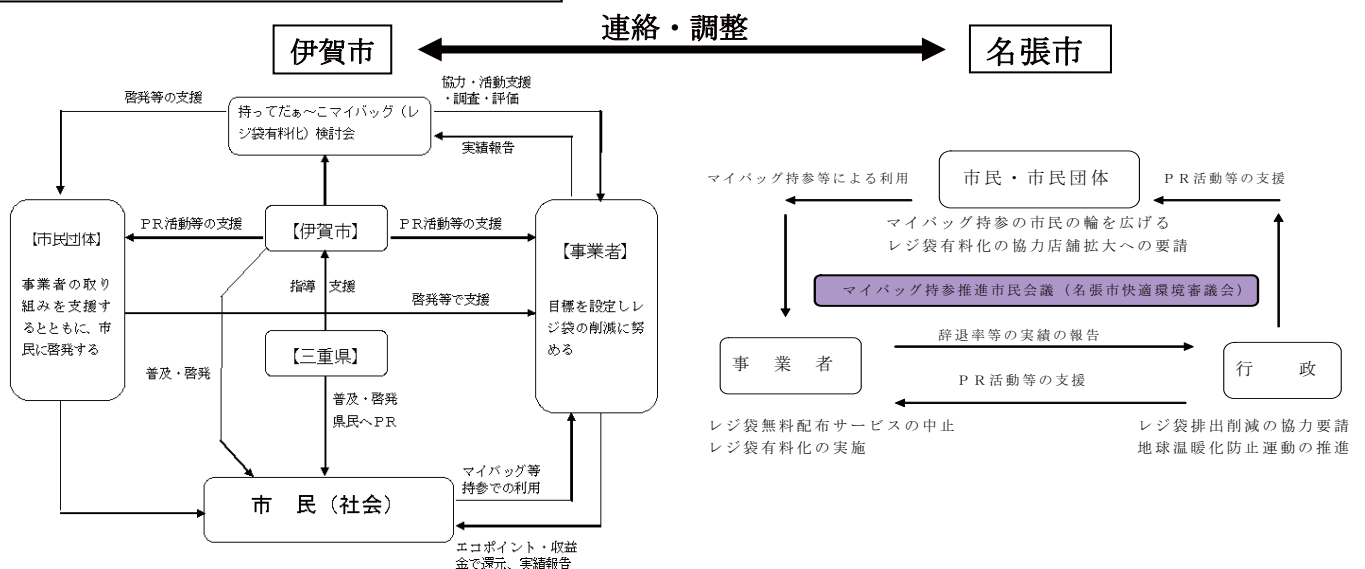


啓発ポスター（名張市）



啓発ティッシュ（伊賀市）

伊賀市・名張市における検討・推進体制



松阪市・多気町・明和町・大台町・玉城町・大紀町「レジ袋有料化検討事業」

事業の目的と概要

レジ袋を通して、地域住民がごみの減量化を意識・実践するため、「レジ袋の有料化・マイバッグ持参推進」について、ひとつの地域・生活圏である1市5町という、全国的にも珍しい広域での取組を検討・推進しました。

事業の成果

- ・住民・事業者・行政で構成する1市5町横断の一元的な検討組織を設置し、推進方針や取組内容の検討を行ったこともあり、広域での合意形成を、スムーズかつ効率的に図ることができました。
- ・1市5町が一体となり、合同協定式など効果的なPR・啓発も行ったことで、行政区分を越えた広域圏全体のレジ袋有料化に向けた気運が醸成されました。



松阪地域1市5町の協定式



松阪地域の啓発チラシ

- ・平成20年11月1日より、1市5町同時に、主要スーパー及びドラッグストア全店（13社67店舗うちドラッグストア3社20店、ホームセンター1店）という、県内最大規模でのレジ袋有料化がスタートしました。
- ・大きな混乱等もなく、スタート5ヶ月間のレジ袋辞退率は、90%前後を維持し順調に推移しています。

今後の課題や取組

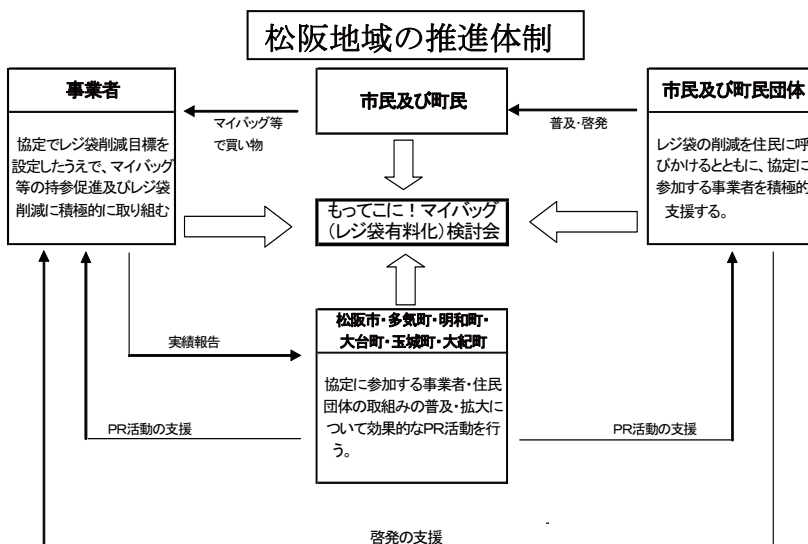
- ・レジ袋辞退率の維持・向上のために、啓発イベントなど市民のモチベーションを維持・高めるための取組を図るとともに、更なる参画拡大をめざして、レジ袋削減、環境にやさしい店作り等に取り組めます。
- ・レジ袋有料化に伴う「収益金」について、市民に納得いただける地域への還元のあるり方を検討します。
- ・引き続き検討会の枠組みを生かして、今後の取組の検討・展開につなげます。



啓発キャンペーン（玉城町）



松阪地域のレジ袋講演会



「生の声」～事業者の立場から

株式会社ぎゅーとら コンプライアンス対策課 高橋 美貴さん

【今回のモデル事業である有料化に取り組んだ理由は？】

平成19年9月21日から導入された伊勢市のレジ袋有料化を進めるときに、伊勢市から有料化の検討会への参加の呼びかけがありました。その時に参加した理由は、有料化が行政主導であることと、市内全てのスーパーマーケットが参加したからでした。

ただ、この時社内では慎重な意見もありました。お客様が今まで無料で配布していたのに、納得していただけるのか？など、いろいろな心配がありました。しかし、以前から実施していたポイント制によるレジ袋辞退率が伊勢市は高かったこと、それに有料化検討会に参加した市民団体の方がとても熱心に活動していただいたので、安心して有料化に踏み切ることができました。



【県内各地でレジ袋有料化が広がりましたが、反応は変わりましたか？】

ぎゅーとらの店舗では、平成19年9月21日から伊勢市、平成20年11月11日からは松阪地域、平成21年1月23日から鳥羽市・南伊勢町・志摩市、そして平成21年4月1日からの津市のレジ袋有料化により、県内25店舗全てで、レジ袋有料化が実施されています。

最初の伊勢市、そして次の松阪地域のレジ袋有料化では、お客様の反応がとても心配でした。しかし津市で始まる頃には、県内の多くの地域で導入されていたので、落ち着いて進めることができました。やはり、お客様の環境意識が高いので、成功したと思います。



マイバッグを使用する
ぎゅーとらのお客さま

【レジ袋有料化の効果と課題は？】

レジ袋有料化の効果は、私自身のことでもありますが、レジ袋のありがたさを感じて、大事に使わなければいけないということに気が付いたことです。その点から、みなさんにも環境のことを意識してもらえるようになったと思います。

課題は、レジ袋の収益金の使用方法です。使用方法を明確にしないと、スーパーマーケット等が儲けているようなイメージを持たれるので、対応を考える必要があります。伊勢市では、収益金を利用して環境のための基金を作っているのので、助かっています。

【今後の環境に関する活動は？】

今は使用済みの食品トレーの回収に力を入れています。毎月決まった日にトレーを10枚以上持参していただいた方にエコポイントを渡しています。

回収したトレーはトレー会社に引き取ってもらい、リサイクル・トレーの原料になっています。

また、店舗周辺道路等の清掃活動の実施、そして地域のボランティア清掃にも積極的に参加しています。

未来の子どもたちのためにぎゅーとらは、今後も環境活動に力を入れていきたいと思っています。

【(株)ぎゅーとらホームページ <http://www.gyutora.com/>】



ぎゅーとらの「マイバッグ」

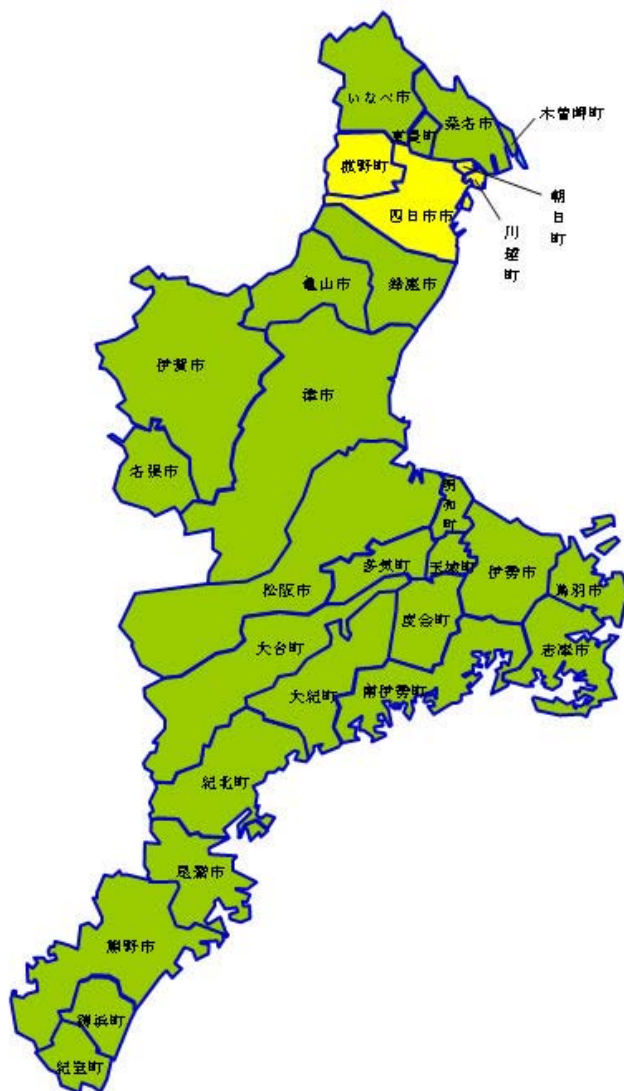


トレー回収の案内

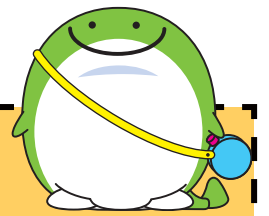
住民・事業者・行政の協定方式による三重県内のレジ袋有料化の取組状況(平成21年9月1日現在)

レジ袋有料化実施：25市町／29市町（86%）、人口カバー率：約80%

レジ袋有料化導入期日	市町名
平成19年 9月21日	伊勢市〔10社31店舗〕※うち1社1店舗はH20.5.1～、ドラッグストア2社9店舗はH20.9.21～
平成20年 7月 1日	名張市〔10社15店舗〕※うちドラッグストア4社6店舗をきむ6社8店舗はH20.10.1～ 伊賀市〔10社19店舗〕※うちドラッグストア4社8店舗をきむ6社10店舗はH20.10.1～
平成20年 9月 1日	鈴鹿市〔13社40店舗〕※うちドラッグストア4社16店舗（うち1店はH20.9.8～、 同1店はH20.11.11～、同1社1店はH21.2.1～、同1店はH21.3.30～） 亀山市〔7社10店舗〕※うちドラッグストア 2社3店舗
平成20年10月 1日	桑名市・いなべ市・木曽岬町・東員町〔16社35店舗〕※うちドラッグストア4社10店舗
平成20年11月11日	松阪市・多気町・明和町・大台町・玉城町・大紀町〔12社68店舗〕 ※うちドラッグストア3社21店舗、ホームセンター1店舗
平成21年 1月23日	鳥羽市〔5社10店舗〕 南伊勢町〔3社8店舗〕 志摩市〔10社27店舗〕※うち1社1店舗はH21.2.21～、ドラッグストア2社4店舗
平成21年 2月 1日	度会町〔3事業者3店舗〕※うち1事業者は個人商店
平成21年 4月 1日	熊野市・御浜町・紀宝町〔8社13店舗〕※うちドラッグストア1社2店舗
	津市〔18社76店舗〕※うちドラッグストア3社19店舗、百貨店1社1店舗
平成21年 9月 1日	尾鷲市・紀北町〔3社9店舗〕
有料化について検討中	菟野町、川越町、四日市市、朝日町



業 態	事業者数	店舗数
スーパーマーケット	31事業者	208店
農業協同組合	6組合	44店
生活協同組合	1組合	2店
ホームセンター	(1事業者)	2店
個人商店	1事業者	1店
百貨店	1事業者	1店
ドラッグストア	6事業者	98店
総 計	46事業者・組合	355店



IV. 平成20年(2008年)度の取組 (県として主に取り組んだこと)

ごみゼロセミナー

ごみゼロ社会実現プラン推進に向けた県民や事業者の参画、ごみ減量化の取組を促進・活性化させるために開催し、プランのPRと合わせて、ごみの減量化に関する講演や県内外の取組事例の発表、意見交換等を行いました。

ごみゼロ県民セミナー～あなたの行動を大きなごみ減量につなげませんか～

平成20年7月19日(土)

三重県総合文化センター大研修室 参加者：100名

- ・講演「消費者の声が企業を変える、ごみを減らす」
講師：プログミーツカンパニー 代表 広田 奈津子 氏
- ・事例発表「レジ袋削減の歩み」
伊勢市環境部資源循環課 課長 阪本 保夫 氏
伊賀環境問題研究会 代表 立田 彰子 氏



広田 奈津子さんの講演



阪本保夫さんと立田彰子さん

【主なアンケート意見】

- ・消費者のそして日本人の行動がいかに大きな影響力を持っているのかよく理解できた。小さなことと思わずに色々なことに疑問を持って行動につなげたい。
- ・普通に思うことを声に出していくことの大切さが企業を動かし、商品を簡素化することをあらためて感じました。

ごみゼロ県民・事業者セミナー

～子どもたちと学ぶ未来のための環境学習～

- ・平成20年12月7日(日)
- ・三重県総合文化センターレセプションルーム 参加者：81名
- ・講演「未来の子ども達に美しい自然を残したい」
講師：ユニー株式会社環境社会貢献部長 百瀬 則子 氏
- ・取組発表

鈴鹿市立天名(あまな)小学校
三重県立桑名北高等学校

【主なアンケート意見】

- ・身近なスーパーマーケットが、どのような環境取組をしているのか、わかりやすい講演でした。
- ・天名小学校の子どもさんたちが一生懸命にエコ活動をしていることに感心しました。私たち大人も見習い良い手本を示していきたいです。



百瀬 則子さんの講演

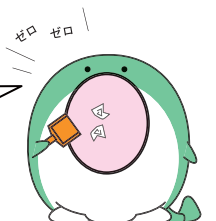


天名小学校の取組発表



桑名北高校の取組発表

講師・発表者と参加者
の間で、活発な意見交換
が行われたゼロ



地域ごみゼロ交流会

地域のごみ減量化取組の活性化をめざし、県内8地域（桑名、四日市、津、松阪、伊勢、伊賀、尾鷲、熊野）で各農林（水産）商工環境事務所環境室が主催し、住民やNPO団体等の皆さんで、地域での取組の発表・先進事例の紹介・意見交換等の情報交流や、見学会、有識者の講演会などを行いました。

桑名「ごみゼロ交流会in大安笠間」

平成20年11月22日（土）

いなべ市立笠間小学校（いなべ市）

参加者：600名

「笠間祭」において、ごみゼロの視点を盛り込んだイベントを開催しました。祭の参加者は、マイ箸（はし）・マイ椀（わん）・マイボトルを利用して、昼食をとりました。また、リサイクルマークのクイズも実施しました。



マイ箸・マイ椀での食事



リサイクルマーク・クイズ

四日市「三泗・鈴亀地域ごみゼロ推進交流会」

平成21年2月21日（土）

県四日市庁舎（四日市市） 参加者：44名

「ごみゼロ社会実現に向けた取組の必要性とごみ処理における課題」、「身近なごみ問題についての活動報告」、「レジ袋削減等への取り組み」等について、参加団体の取組発表がありました。



取組発表

津「津地域ごみゼロ推進交流会「おいしい野菜作り」



橋本力男さんの講演

平成20年11月29日（土）

津市西部クリーンセンター（津市） 参加者：60名

橋本力男氏（NPO法人生ごみリサイクル全国ネットワーク）、亀井静子氏（NPO法人生ゴミリサイクル亀さんの家）、穴倉秀明氏（戸田家業務副支配人）から、堆肥化と野菜作りについての講演がありました。

松阪「ものを大切に作る心を育てよう～松阪地域ごみゼロ推進交流会～」

平成20年8月24日（日）

県松阪庁舎（松阪市） 参加者：60名

「松阪おもちゃの病院」の臨時開院や「嬉野アイリス」の環境寸劇など、多くの団体に環境活動紹介・啓発を行っていただきました。また、「ものを大切に作る心を育てるため、必要なことは何か？」をテーマにフリートークを行い、多くの意見が提案されました。



おもちゃの病院



提案された多くの意見

伊勢「伊勢志摩地域ごみゼロ推進交流会・講演会」

平成 21 年 2 月 14 日（土）

阿児アリーナ ベイホール（志摩市）

参加者：130名

午前は、交流会として各団体が、実践成果発表及び意見交換を行いました。午後からは、「美しい海を守りたいー伊勢湾における海洋ごみの現状」をテーマとして、鹿児島大学水産学部准教授 藤枝繁氏の講演がありました。



交流会



藤枝繁さんの講演

伊賀「ごみゼロ交流会in伊賀～ストップ！レジ袋～マイバッグ持参シンポジウム」

平成 20 年 8 月 31 日（日） 県伊賀庁舎（伊賀市） 参加者：70名

『「伊賀地域モデル」で生活環境を変えよう！』というテーマで、三重大学学長補佐 朴恵淑氏の講演がありました。また、事業者及びレジ袋有料化検討会を中心に、これからの「伊賀のごみゼロ」についてパネルディスカッションを行いました。



パネルディスカッション

尾鷲「紀北地域ごみゼロ推進交流会」

平成 21 年 3 月 8 日（日）

県尾鷲庁舎（尾鷲市） 参加者：21名

「消費者の声で企業を変えてごみを減らす」をテーマに、ブログミーツカンパニー代表 広田奈津子氏の講演と、尾鷲市三木里婦人会の事例発表がありました。



広田奈津子さんの講演



三木里婦人会の事例発表

熊野「熊野地域ごみゼロ推進交流会～資源の節約！マイ箸づくり体験～」

平成 21 年 3 月 15 日（日） 県熊野庁舎（熊野市） 参加者：30名

ごみの排出を抑えるという観点から、できるだけ多くの方にマイ箸を使っていただくために、NPO法人 海虹路(えこ)の会員が講師となり、尾鷲ひのきを使ったオリジナルマイ箸作り体験を行いました。

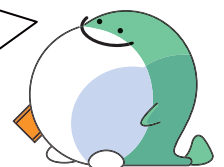


マイ箸作りの講師



マイ箸作りの参加者

県内8地域で、講演、体験、活動紹介など、色々な独自の工夫をした交流会が開催されたゼロ



行政連絡会議

県内8事務所管内ごとに、平成20年7月と21年2月の2回、市町（一部事務組合及び広域連合を含む）と県の担当者が参加して、行政連絡会議を開催し、ごみゼロ社会実現プラン推進の取組についての情報共有や意見交換を行いました。

また、平成20年5月28日（水）に水産会館（津市）で、市町一般廃棄物行政担当部課長会議を開催し、三重大学学長補佐 朴恵淑氏の講演「今なぜ“レジ袋削減”なのか？」の他、県環境森林部の事業内容等の説明を行いました。



行政連絡会議



一般廃棄物行政担当部課長会議



生ごみ堆肥化講座

4市町（いなべ市、伊勢市、熊野市、大紀町）において、道具箱を利用した堆肥化講座を、①一次処理②二次処理③堆肥利用の3回に分けて実施しました。4市町各3回の講座に、のべ190名の方に参加していただきました。

なお、堆肥利用講座は、三重県農業改良普及センター主幹 中川威佐夫氏に講師をお願いしました。また、大紀町の堆肥利用講座では、堆肥化を実践している住民の取組発表も行いました。



一次処理（いなべ市）



一次処理（大紀町）

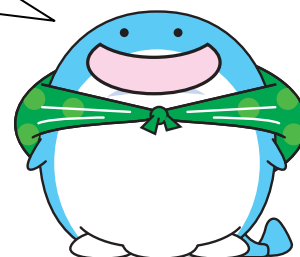


二次処理（熊野市）



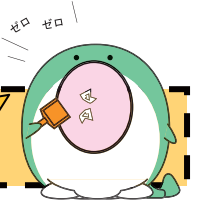
堆肥利用（伊勢市）

たくさんの県民のみなさんに、道具箱を利用した生ごみ堆肥化について、講義と実習を通して、楽しく学んでいただきました。



V. ゼロ吉くんればお〜と

ごみ減量に取り組む人達を訪ねて、活動を始めたきっかけや、活動を続けて良かったと思うことを話してもらったゼロ



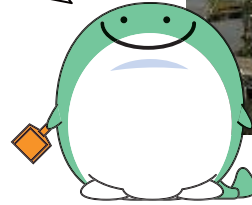
特定非営利活動法人 花里(はなさと)(四日市市)

今日訪ねた花里では、温室や畑のある広い場所で、花の生産・喫茶・バラの育て方教室などを行っているんだ。

花里は、3年前からEM菌による堆肥化を始め、喫茶から出た生ごみや木くずなどを堆肥化して、バラや野菜を育てているんだよ。



花里の全景



副理事長 伊藤 千里さん

花里では、きれいな雰囲気を作り、苦勞を感じさせないことで、環境に興味を持ってもらうきっかけにしたいと思います。私も実際に農作業をしている時は大変ですが、作業が終わると非常にスッキリした気分になります。

現在の堆肥化の方法は時間がかかるので、堆肥化の機械を導入することを検討しています。また、以前福祉施設と協力して行っていた園芸福祉をもう一度始めたいと思っています。

【花里のホームページ <http://www.hanasato.or.jp/>】



花里の循環ループ

EM菌とコンポスト容器を利用して作った堆肥を畑に敷いて、トマトなどの野菜やバラを育てています。とれた野菜は、喫茶で提供されるランチの食材になり、残ったものは再び堆肥化して利用しています。



コンポスト容器



畑に敷いた堆肥



堆肥で育てるバラ

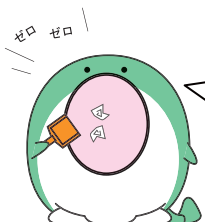
花里で育てた野菜を使ったランチは、絶品ゼロ！



雰囲気の良い喫茶



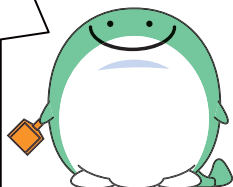
堆肥で育てるトマト



嬉野アイリス(松阪市)

嬉野アイリスは、15名の会員が、「環境」と「男女共同参画」を二本柱として、「和服のリフォーム」「マイバッグ作り」「環境啓発の演劇」等を行い、数多くのイベントに参加しているんだ。

今日は、会話も楽しく廃油キャンドルを作成しているところに訪問したよ。



リフォーム着物のファッションショー (↑、↗)
環境啓発の演劇 (→)
【平成20年度松阪地域ごみゼロ交流会より】



祭の「のぼり」で作ったマイバッグを持って

代表者 小坂 滋子さん

嬉野アイリスの活動を続けられているのは、楽しくて、仲間に恵まれたことが一番の理由だと思います。みなさん、食生活改善推進員、介護ボランティア、洋裁などそれぞれに活躍してきた人達なので、参加して一緒に活動することで、お互い勉強になります。

今後は、この地域も若い人が増えたので、若い人に入ってもらって、地域おこしのようなこともしていきたいです。

みなさんの声



「家の中にもっているだけでなく、色々なことを調べて外に出て多くの人と話せるのがいいわ。」

「小坂さんに誘われたんですけど、私は仕事をしているので、できる時にだけ参加するという、おおらかさが気に入っています。和服のリフォームは、自分の技術を活かせる良い体験ができました。」

「言いたい放題、したい放題、お互い我慢しないのが良いところ。いろいろなことを行うのが面白いので、今後も続けていきたいと思っています。」



作業中は、みんなにぎやかで、とても楽しそう。
できたキャンドルも赤く、とてもきれいに燃えているわ。



飯南町生ごみ堆肥化研究グループ(松阪市)

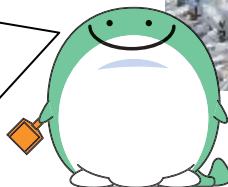
飯南町生ごみ堆肥化研究グループは、平成12年から自治体と協力して、生ごみの堆肥化によるごみ減量の活動を続けているよ。

グループには80名も会員がいて、堆肥化の作業に参加して完熟堆肥を受け取り、その堆肥を各家庭で野菜の栽培に利用しているんだ。

今日は、みなさんが3ヶ月に1回集まる、共同作業を行って、完熟堆肥を受け取る日なんだ！



作業に集まる会員と堆肥



結城会長(左から2人目)と班長を務める会員のみなさん

会長 結城 節子さん

自分で代表は4代目ですが、このグループが続いてきた理由は、第一に行政との協働意識です。松阪市飯南地域振興局の方に協力していただいているのは非常にありがたいことです。

また、団体を立ち上げた時の苦勞を感じているので、代々続いてきたものを自分の代では終わらせたくないと思っています。

みんなの目的が「生ごみを土に返して野菜に育てる」ことに統一されているのも、良いと思います。

松阪市飯南地域振興局地域振興課 中村 伸次さん

最初は、私が堆肥化のことを知ってみなさんに紹介したことから、始まりました。

強制的ではないから、皆さん続けていけるのだと思います。また、完熟堆肥を畑に使うと病気に強い柔らかい土ができるという成果があることも、続けられる理由だと思います。

今後は、会員が周りの家に声をかけたりすることで、仲間が増えてほしいと思います。



堆肥をホイールローダでかきまぜる中村さん



たくさんの会員のみなさんが集まって、一生懸命に作業をしてみえました。堆肥がたくさんあるから、作業も大変そうでしたよ。



クルクル工房 特定非営利活動法人 輪リサイクル思考(桑名市)

NPO桑名生ごみ堆肥センター(桑名市)

桑名市リサイクル推進施設(愛称:クルクル工房)は、桑名市のリサイクル活動の拠点施設として、資源ごみ回収、リユースショップ、生ごみの堆肥化などの活動をしているんだ。

クルクル工房では、企画運営を特定非営利活動法人輪リサイクル思考が、堆肥化をNPO桑名生ごみ堆肥センターが、行っているよ。

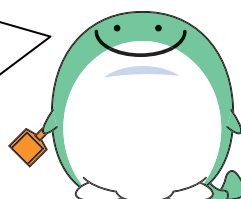
本日は、クルクル工房を訪問し、2団体の方からお話を聞いたよ。



クルクル工房 事務所



堆肥舎(上)と資源ごみ回収場(下)



特定非営利活動法人 輪リサイクル思考 理事 渡邊 英紀さん

環境活動は、どうやって広めていくかが難しい。そのため、うまく世の中の流れに乗れるように工夫して、今後も楽しみながら、3Rについて広めて、継承していきたいです。

また、職員が高齢化していて、資源回収の仕事が大変なので、若い希望者を仲間に加えていきたいです。又、ここで開催する布ぞうりの教室などで後継者を育てて、各地域でグループを作って広げてほしいと思います。

【ホームページ <http://www.mmjp.or.jp/wa-recycle/>】



NPO桑名生ごみ堆肥センター 代表 蛭川 卓三さん

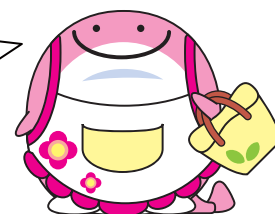
堆肥化の方法について、一次処理に使う床材の発酵や、二次処理の際に空気を送り込む等、常に工夫を重ねて微生物の培養が多くなるように進めた結果、現在生ごみの減容率が大きくなり、堆肥も臭いがほとんど無いという良い状況を保っています。

これからも、堆肥化の色々な方法を検討していく必要があります。



リユースショップ店内とリフォームを行う会員

リユースショップには、会員がリフォームして作った物もあるの。
買いたい物がたくさんあるわ。



特定非営利活動法人 生ゴミリサイクル亀さんの家(松阪市)

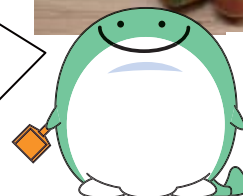
生ゴミリサイクル亀さんの家のみなさんは、家庭で一次処理をした生ごみを集めて堆肥を作っているよ。できた堆肥は、会員のみなさんが、有機栽培の野菜を作るために使っているんだ。

その活動が認められ、代表者の亀井静子さんは、平成21年度の内閣府「女性のチャレンジ賞」特別部門賞を受賞されたんだ！

堆肥を作る作業のために、会員の方は毎週交代で朝早く集まって作業をしてみえるので、今日は、その作業中に訪問したよ。



堆肥で作った野菜



代表者 亀井 静子さん

今見ていただいているみなさんの笑顔が、私の宝なんです。

生ごみは、捨ててしまったらただのごみなんですけど、こうして肥料として使って、おいしい野菜を育てたら、素晴らしいごみになります。できたら、地域のみんなの生ごみを堆肥化したいなあという夢は持っております。

もう一つ大きな夢は、会員の作った野菜の販売場を作りたいと思っておりますが、今は先立つものがありません(笑)



みなさんの声

「作業は大変ですが、畑で作る野菜がおいしいと言われるのが喜びです。」

「女性陣が、力仕事などを頑張っているから、男としては手伝わなあかんわなあ。」

「終わってからみんなと楽しく話して、お菓子やご馳走をいただくのが楽しいです。」

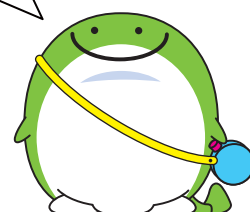


(↑) 作業を終えて憩いの一時

(←) 二次処理の作業を行う会員

作業中の熱心に働いている姿と、作業が終わって休んでいる笑顔が、印象的だったよ。

収穫したトマトもみずみずしかったよ。



エコの館 特定非営利活動法人 生ごみリサイクル思考の会(東員町)

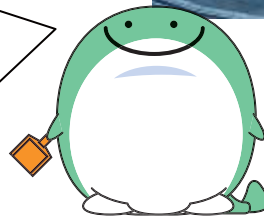
生ごみリサイクル思考の会では、平成21年6月2日に新しく「エコの館」を開店したんだ。

「エコの館」は、①環境やごみ減量の情報提供を行う場作り②地域のコミュニティを作ることを目的にしている、常設フリーマーケット、喫茶コーナー、学習フリースペース、廃食油の石けん工房など色々な活動を行っているんだ。

開店して約4ヶ月が経過した「エコの館」を訪問したよ。



エコの館 外景



代表者 川島 浩さん



エコの館の学習フリースペースでは、リサイクルうちわや、布ぞうり、親子リサイクル工作教室を開催しています。その教室からできたグループが育っていけば、広く環境のことが伝わると思います。

今後の目標としては、現在おもちゃ病院を新しく開設することを計画しているので、その事業を進めたいと思います。また、エコの館をたくさんの人に知っていただいて、環境のことが多くの人に伝わるとともに、団塊の世代のコミュニティの場となることを願っています。

【ホームページ <http://www15.ocn.ne.jp/~toin-rcy/>】



出店者がいつでも参加できる常設フリーマーケット



家庭からの廃食油で作った石けん

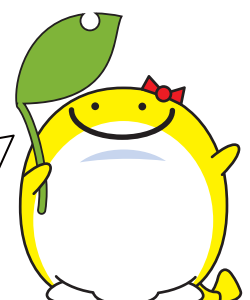


エコの館で作った布ぞうり



壊れたうちわにハンカチを貼って作ったリサイクルうちわ

廃食油の石けんは、お菓子みたいで食べたくなっちゃう。
リサイクルうちわは、とてもきれい！

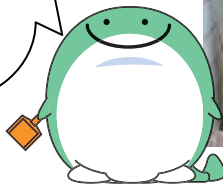


特定非営利活動法人 NPOとばりサイクルネットワーク(鳥羽市)

鳥羽市リサイクルパークは、ごみ減量化やリサイクルを通じた「市民の交流の場」として、資源ごみの回収や堆肥化を行っているんだ。

リサイクルパークは、鳥羽市の施設として、NPOとばりサイクルネットワークが運営しているんだ。

今日は、高校生の県インターンシップ研修生と一緒に訪問したよ。



平成21年秋に堆肥舎等を増設したリサイクルパークの外景



二次処理を行う堆肥舎



リユースショップ「もったいないやん」



理事長 山西 元さん

以前自治会連合会の環境部会の役員をしていたことがきっかけで、この仕事にたずさわりました。

今後は、堆肥舎も増設されますので、もっと多くの方にリサイクルパークを知っていただいて、利用者を増やしたいと思います。

また、若い方にも、もっと参加してもらいたいですね。



みなさんの声

「ごみは、避けて通れない問題です。環境にたずさわってから、ずっと走り続けて来られたのは、やはり良い仲間にも恵まれたからです。」

「作業をしていると、堆肥や資源ごみを持ってくるお客さんに『ありがとう』と言われるので、嬉しいし、役立っている気持ちになれます。」

「妻と2人でリサイクルパークに資源ごみを持ち込んだことが参加したきっかけです。」

詳しくは、

鳥羽市リサイクルパーク

検索

県インターンシップ研修生の声



「初めてリサイクルパークを訪ねて、あらゆる活動が環境のためになされていて、すごいと思いました。

見学や講座を聞いて、環境について考えるよい機会になったので、とても勉強になりました。」

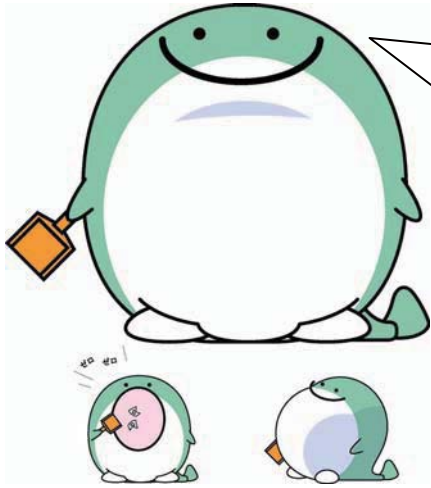
みなさん、とても親切に教えてくれたゼロありがとうございましたゼロ





VI. 三重県ごみゼロキャラクター「ゼロ吉」登場

三重県ごみゼロキャラクター「ゼロ吉」



僕は、三重の豊かな森から生まれた森の妖精。
人間で言うと小学4年生くらいかな。
僕が大人になった時も自然豊かな三重県であって欲しいから、資源を大切にする暮らしをしているよ。
今は、ちょっと太めな体だけど、大人になった頃には、ダイエットしてスリムになるぞ〜。



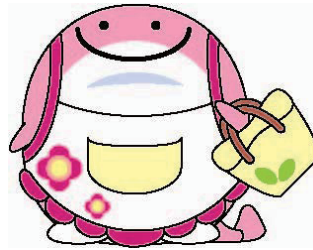
ゼロ美



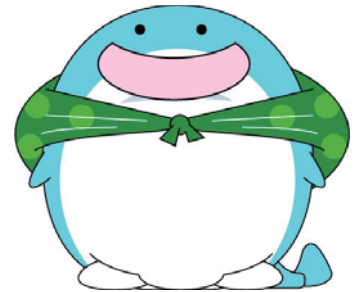
ゼロ助



ゼロ吉



ゼロママ



ゼロパパ

ゼロ吉着ぐるみ「エアゼロ吉」

ゼロ吉着ぐるみ「エアゼロ吉」は、平成21年4月18日（日）県民の日にデビューしました。
できるだけ多くの県民の皆さんにゼロ吉とふれあっていただくため、各種イベントへ「エアゼロ吉」の貸出を行っています。

貸出を希望される方は、裏表紙記載のごみゼロ推進室までご連絡ください。



「県民の日」にデビューしてから、イベントや県庁見学などで、子ども達に大人気です。

ゼロ吉DVD「みんなでめざそう“ごみゼロ社会”～ゼロ吉と一緒にごみをなくそう～」

ゼロ吉と一緒にぬいぐるみを探す女の子が、三重県のごみの状況や3Rのことを学んでいきます。ゼロ吉ファミリー総出演です。

県内小学校と市町教育委員会・公立図書館に配布していますが、ごみゼロ推進室でも貸し出していますので、裏表紙記載の連絡先まで、ぜひご連絡ください。



パンフレットもあります

ごみゼロバス

「ゼロ吉ファミリー」の広告が描かれた「ごみゼロバス」をご存知ですか？

平成19年10月20日（土）のごみゼロフォーラムで会場を出発してから、1年半津市内を走っていましたが、平成21年4月1日からは、鈴鹿市と亀山市を走っています。

一度探してみてください。



マグネット・ステッカー

三重県内を走る市町のごみ収集車などに、「ゼロ吉ファミリー」のステッカーを貼っていただいています。県内で60枚のステッカーなので、見かけた人はかなり幸運（？）かもしれません。ごみ収集車を見かけたら、注目です。



「ゼロ吉ファミリー」の看板

平成21年5月21日（木）から津駅の近鉄ホームとJRホームの間に「ゼロ吉ファミリー」の看板を11月末まで掲示していました。みなさん、お気づきになりましたか？



コンビニエンスストア「ゼロ吉ファミリー」のシール

平成21年7月下旬から、三重県と包括提携協定を締結している（株）ローソンと（株）サークルKサンクスにおいて、県内全店舗のダストボックスに、「ゼロ吉ファミリー」をモチーフにしたごみ減量啓発シールを貼付し、広く来客のみなさんへのPRを行っています。

買い物に出かけたら、ダストボックスに注目してください。



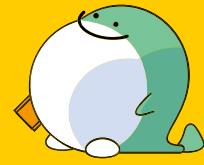
僕たちゼロ吉ファミリーを見かけたら、ごみ減量のことを考えてほしいゼロ





♪ごみゼロソング♪

作詞：藤島 幸／作曲：家城 和子
プロデュース：エフエムよっかいち株式会社



①捨てる前に かんがえる

3R（スリーアール）だね
ゼロパパ【ゼロパパ】
レジぶくろは
いりません
マイバッグ自慢の



ゼロママ【ゼロママ】
ごみは正しく わけましょう
分別できるよ
ゼロ吉くん【ゼロ吉くん】

きっと明日は
変わるはず
青い空が
よろこぶよ



ぼくも がんばろう
みんなで めざそう
わたしも がんばろう
みんなで めざそう
ごみゼロ社会（×4回）



みんなにも、
歌ってもらい
たいなあゼロ

②水筒もって でかけるよ

マイボトルの
ゼロ助くん【ゼロ助くん】
ごはんは残さず
食べます
すききらいなよ
ゼロ美ちゃん【ゼロ美ちゃん】



物は大事に 使います
ゼロ吉ファミリー
きっと明日は
たのしいよ
森の木々が
ささやくよ

ぼくも がんばろう
わたしも がんばろう
みんなで めざそう
ごみゼロ社会
ぼくも がんばろう
みんなで めざそう
わたしも がんばろう
みんなで めざそう
ごみゼロ社会（×4回）

ごみゼロホームページで、ごみゼロソングを聞くことができるわ！



平成21年（2009年）度版

ごみゼロレポート

～みんなでめざそう“ごみゼロ社会”～

平成21年12月

三重県環境森林部ごみゼロ推進室

〒514-8570 三重県津市広明町 13

TEL：059-224-3126 FAX：059-229-1016

Mail：gomizero@pref.mie.jp

[三重県ごみゼロホームページ](http://www.eco.pref.mie.jp/gomizero/) http://www.eco.pref.mie.jp/gomizero/

・「ゼロ吉」着ぐるみのご借用

・「ゼロ吉」ファミリーのキャラクターご使用

・ごみゼロメールマガジンの配信ご登録はこちらからどうぞ！

三重県ごみゼロ

検索